

あんげろす

連合大学設立運動と明治学院

キリスト教学校教育同盟百年史の編纂委員をしている関係上、最近本業を離れて、連合大学設立運動について論文をものす機会が与えられた。『明治学院百年史』を紐解くと、明治学院は関東学院、聖学院と一緒に「大正学院」を設立する予定であったと述べられている。いわば「老舗」である明治学院が大学令による「大学」に昇格しなかったのは何故かと常々疑問を抱いてきたが、ようやく氷解した。

というのは、キリスト教学校でも規模の大きい同志社・立教は過重な供託金を用意して「大学」に昇格したが、明治学院は、青山学院と連合して高等部を連合大学に統合する道を模索し続けたからである。この方策が成功していれば、学問的レベルと設備において申し分のないキリスト教大学が東京において誕生したことであろう。しかし、青山学院の反対や、資金源であるアメリカとの植民地争奪戦争のせいで、夢破れた。

高等教育機関の大競争時代を迎えている今日、旧帝大は大学院大学と称し、大手私大は専門職大学院をいくつも設立している。明治学院は、どのような道を選択するのであろうか。

大西 晴樹

第 32 号

2003. 9.

